

両沼地方稲作情報 第1号

平成31年3月25日

発行： 福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所 (電話0242-83-2112)

” 金山普及所 (電話0241-54-2801)

J A会津よつば 各営農経済センター、J A会津米改良協会

極上の会津米作りのため、まずは健苗育成を頑張りましょう！

1 春先の作業について

一般的な春作業は以下の手順で行います。



◎ 春作業のポイント

- ・塩水選の実施
- ・浸種は、種子1:水2の割合で実施。積算気温の目安は100℃。水交換は浸種後3日目から毎日交換すること。
- ・催芽は28℃(病気対策)を超えないように温度管理しましょう。
- ・育苗中の苗ヤケに注意！(特に大型連休中)

(1) 塩水選

種子を塩水(表1)に入れ、比重の違いで未熟な粳を浮かせて取り除くこと塩水選といいます。充実度が悪い種子は発芽が悪く、病気になっている可能性もあります。塩水選後は真水で良く洗い、塩水を洗い流しましょう。薬剤で消毒してある種子は流水で洗うと薬剤が流れてしまう可能性があるため、停滞水(専用の桶に水を入れて)で漬洗いした後、浸種しましょう。

ムラをなくすために、種子袋(サラン袋)には7分目くらい余裕のある量を入れましょう。

未消毒種子を種子消毒する場合は、塩水選し、水洗した後種子袋の水を軽く切ってから種子消毒を行いましょ。

表1 塩水選に使う比重液の作り方

区分	比重	水100あたりの食塩
うるち	1.13	1.9kg
もち	1.10	1.4kg

(2) 浸種

毎年春先に気温が高くなり、芽が伸びすぎてしまうケースが散見されます。注意しましょう。

ア 浸種場所 … 浸種水槽に直射日光が当たらないよう屋内等で浸種してください。
温度が高いと芽が急速に伸び始めます。

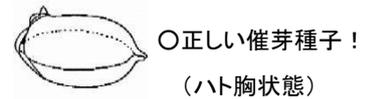
イ 水温 … 初日から10℃~15℃を確保し、積算温度100℃を目安にします。
(水温)10℃ × (浸種日数)10日 = (積算温度)100℃

※注意 ① 浸種初期の低水温(10℃未満)は、発芽揃いを悪くします。

ウ 水の交換 … 初めは3日後に目安に交換し、その後は毎日取り替えましょう。
(酸素欠乏対策と雑菌繁殖防止対策)

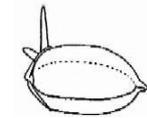
(3) 催芽

催芽温度はもみ枯細菌病対策として28℃（※30℃以上ではもみ枯細菌病が発生しやすくなります！）とし、ハト胸状態まで均一に催芽しましょう。



○正しい催芽種子！
（ハト胸状態）

こまめに温度や芽の状況を確認しましょう。発芽率が80%以上になったら終了します。



×伸ばしすぎ…

催芽時は、内部まで温度のムラがないようにしましょう。種籾を袋にすると広がらず、温度のムラができる原因となります。出芽育苗器を利用する場合は温度を28℃に設定し、それ以上の高温は避けましょう。芽の長さは5mm～10mmを目安に伸びすぎないように注意しましょう。被覆資材を利用した無加温出芽では、28℃目安の温度管理を行いましょう。

(4) 播種

播種は適量を厳守しましょう(表2)。播種後、田植えまで日数がかかると老化苗の原因になります。

表2 播種量と育苗日数の目安

苗種	播種量(乾籾 g/箱)	育苗日数(日)	葉数(葉)
稚苗	200	20～25	2.5 前後
中苗	100	30～35	3.5 前後

育苗

1 緑化～硬化期の管理

(1) 緑化(苗が緑色を帯びるまで)

白化苗防止のため、1葉期までは強い光に急に当てないようにしましょう。昼間 25℃、夜間 15℃を目安として高温による苗ヤケと、低温によるムレ苗を防ぎましょう。

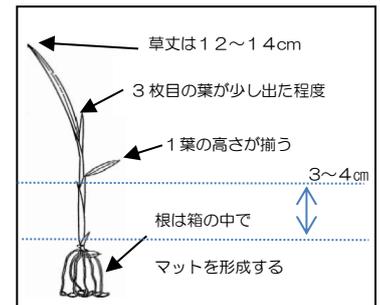


図2 理想的な稚苗

播種時に苗立枯病防除をしていない場合はこの時期に実施しましょう。

(2) 硬化(1.5 葉期から)

苗が緑色になったら平張りはずして十分日光に当てます。昼 25℃、夜間 10～15℃を目安に、徐々に自然環境に順応させましょう。

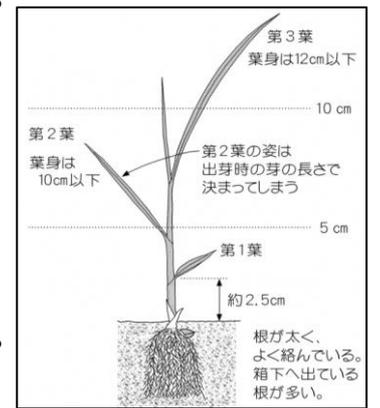


図3 理想的な中苗

(3) 温度管理

ハウスやトンネル内の温度計は苗の高さに設置して温度管理を行います。晴天時はハウス内の温度が朝は急に上がり、夜は急に下がるので、ハウスの開け閉めをこまめに行いましょう。

◎日中の育苗ハウス内等の高温による苗ヤケや病害虫の発生にご注意ください！
適正な温度管理により、健苗育成に努めましょう！

(4) 灌水

原則1日1回、朝にたっぷりと灌水します。乾いた場合には昼頃に追加灌水します。夕方の灌水は地温を下げ、根張りを悪くするので行わないようにしましょう。理想の苗姿を目指しましょう(図2)

農作業事故に注意しましょう。
3/1～5/31 (県は 4/1～5/31)
春の農作業安全確認運動期間です！



農薬適正使用について

農薬を使用する際は、用量用法を守って正しく使いましょう。

御不明な点は最寄りのJA 営農経済センターまたは普及所までお問い合わせください。